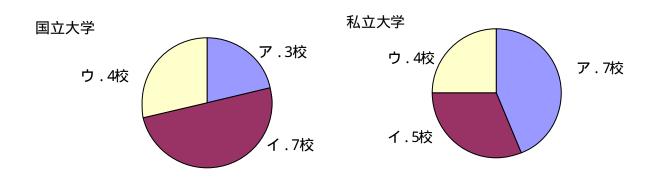
大学における留学生受入れに係る取組みについて(調査結果)

渡日前留学生の入学選考について

1. 留学生の入学選考



- ア、渡日前留学が可能な制度を設けており、教職員が海外に赴いて、面接を実施している
- イ.渡日前留学が可能な制度を設けているが、教職員が海外に赴いて、面接を実施していない
- ウ.渡日前留学が可能な制度を設けていない

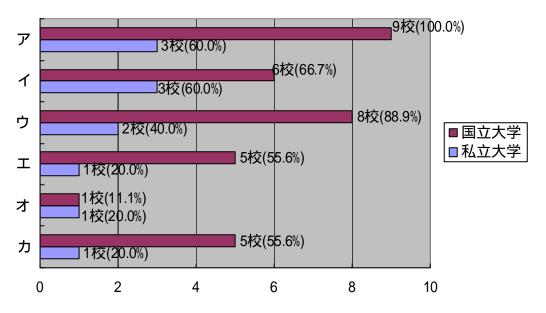
図1 海外における入学選考の状況

- 2.教職員が海外に赴いて、面接を実施している国・地域 主な派遣先:中国、韓国、台湾、インドネシア、モンゴル、タイ、 ミャンマー、ヴィェトナム、カンボジア、ラオス、
- 3.渡日前留学が可能な制度を設けているが、教職員が海外に赴いて、海外 で面接を実施していない場合の入学選抜の仕方

国立大学: 9 大学 (64.3%) 私立大学: 5 大学(31.3%)

(1.アの3校のうち2大学については、一部の学部によって、教職員が海外に赴い

て、面接を実施していないので、7校に加え集計)



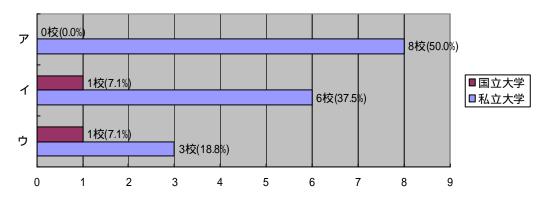
- ア.出身校の成績証明書等を提出させ評価
- ウ.TOEFL等の活用

- イ.日本留学試験の活用
- 工、小論文を提出させ評価
- オ、電話、TV電話又は、インターネット等によるインタビュー形式の試験を実施
- カ.その他: 留学計画書、研究計画書を提出させて評価、現地の大学の研究指導教官等 の推薦 等 複数回答可
- 図 2 渡日前留学が可能な制度を設けているが、海外で面接を実施していない 大学における入学選抜

国内の日本語教育機関との提携について

4.日本語教育機関と提携して、日本語教育機関の情報を入学選考に反映している大学

国立大学: 1大学(7.1%) 私立大学: 12大学(75.0%)



- ア、日本語教育機関より推薦入学の留学生の受入れ
- イ.日本語教育機関の内申書等を入学選考の評価に利用
- ウ.その他:在籍状況調書、付属学校の推薦、日本語能力の証明書 等 複数回答可
- 図3 大学が入学選考の評価の際に使用する日本語教育機関の提供する留学生の情報

5. 日本語教育機関と意見交換の場を設けている頻度

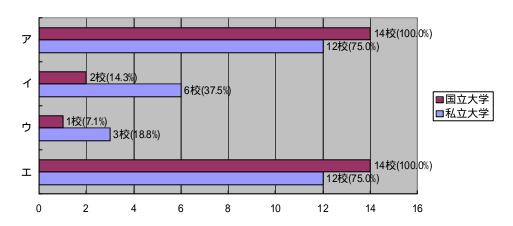
大学と日本語教育機関との間で独自に実施: 4私立大学(1回/年) 複数機関間の集会を活用して実施: 3私立大学(1回/年)

3私立大学(2回~ 4回/年)

1私立大学(5回~11回/年)

その他

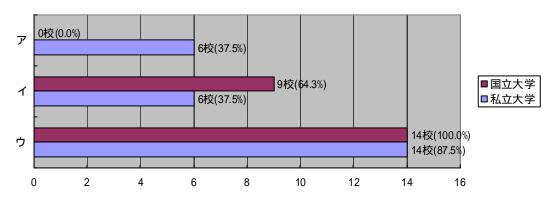
6.海外における広報活動



- ア.日本留学説明会(日本留学フェア)(AIEJ又は海外機関主催)に参加
- イ.大学独自の説明会(海外提携校との共催を含む)の開催
- ウ.大学の海外事務所を通じた独自広報の実施
- エ.大学のホームページによる広報 複数回答可

図4 海外における広報活動

7.海外の教育機関との連携



- ア、海外の高校相当の教育機関と提携した卒業生の受入れ
- イ.海外の大学等と提携した転入生の受入れ(ツイニングプログラム等)
- ウ.大学間交流協定等に基いた3ヶ月以上滞在の留学生(留学終了後に母校に 戻る予定の者)の受入れ

複数回答可

図 5 海外の教育機関との連携